

認定こども園 六甲藤原台幼稚園

令和6年度 学校評価

1. 本園の教育目標

- 体の丈夫な逞しい子ども
- ものをよく見、よく聞き、自由に考える子ども
- 明るく伸び伸びと表現する子ども
- 決まりを守り友だちと仲よく遊ぶ子ども
- 真剣に最後までやり通す子ども
- 辛抱の出来る子ども
- 感謝のできる子ども

2. 重点的に取り組む目標と計画

- 自分の思いを表現し、好きな遊びを十分に楽しめる環境構成（人的・物的）を工夫する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

自己評価結果（達成状況）

【A：十分に成果があった B：成果があった C：少し成果があった D：成果がなかった】

評価項目	結果	具体的な内容と成果
個々の思いを安心して表現できる環境を工夫する。	A	一人一人に寄り添い、丁寧に関わることで、安心して自分の思いを出して過ごす姿が見られた。次第に友達との関係性が深まり、それに伴い、トラブルも見られるようになったが、保育者が直ぐに解決に入るのではなく、見守ったり、必要に応じて仲立ちをしたりするなど自分たちで解決できる力が育つよう関わり方を工夫していった。3学期に入ると子ども同士で解決しようとする姿が見られるようになった。 一年を通して、自分の思いや意見を発表出来るような場を作ることで、自信を持って自分の意見を話す姿が見られるようになった。
子どもの姿に合わせた環境構成（保育室・園庭）を整える。	A	子どもの成長や興味、やりたい思いを読み取り、それに合わせて道具・遊具や職員の配置を整えた。また、自分たちで選択できるような環境構成を工夫していった。3学期になると子ども自身がやりたい遊びを選び、それに必要な物を考えて遊ぶ姿が見られるようになった。
ドキュメンテーション	A	子どもが興味・関心を持っていることや日々の子どもの成長が

<p>ンを保護者への見える化だけでなく育ちの記録として活用する。</p>	<p>見えるような内容を配信し、保護者に伝えることが出来た。又、保育者もドキュメンテーションを用いて、年間を通して子どもの姿を振り返りに活用出来た。育ちの記録としてより活用できるよう、今後も工夫していきたい。</p>
--------------------------------------	--

○学校評価の具体的な計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<p>一人一人にゆったりと寄り添い、個々に合わせて援助していくことで、子ども達が安心して過ごす様子が見られた。次第に、友達や保育者に伝えたい気持ちが芽生え、意見や思いが言えるようになった。また、子ども同士でやってみたいことややりたいことを伝え合いながら遊びの環境を整えていく姿や問題解決をしようとする力が育ってきた。子どもの興味や関心、意見を保育の中に取り入れることで、探究心が育まれ、子どもの学びへの意欲が高まったように感じる。子どもの育ちを意識しながらドキュメンテーションを作成し、見返しやすいよう記録としてファイリング方法を工夫したことで、保育者にとって子どもたちの育ちの気付きとなり、保育にも活用できるようになった。</p>

○学校関係者の評価

「自分の思いを表現する」は、大人にとっても難しいことであると思うが、園全体で研修を行い、職員が一人一人に寄り添ったり、育ちを待ったりすることが出来るようになってきている。そのため、子どもが思いを表現できるようになってきたのではないかと思う。発表会では生き生きと表現する姿や自信をもって発表したりする姿が見られた。また、日々の疑問や不思議に思ったことを調べ、やってみたいことに取り組んだ結果、クラスみんなで作り上げた発表会になったのではないかと思う。その中で子ども同士の助け合いも見られ、そのまま成長し、よりよい社会になることを期待する。

学校評価委員

立石 由紀子

寺見 和秀

金城 武志

吉田 春香

小野田 有香里